

# 岩手県感染症週報

平成18年第30週（7月24日～7月30日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第30週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生は報告はありませんでした。

4 類感染症

・レジオネラ症の報告が1例ありました。患者は80歳代の女性です。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

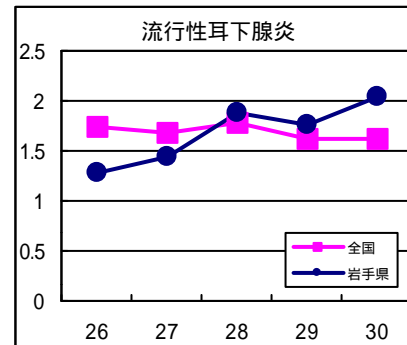
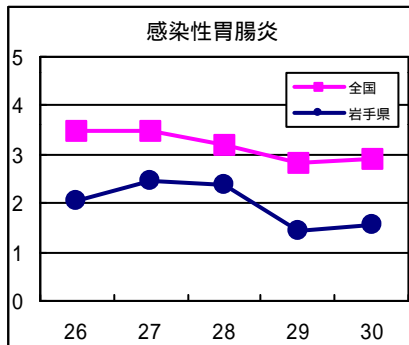
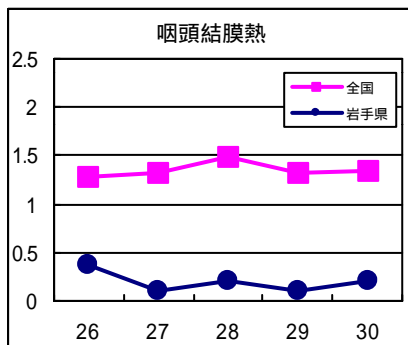
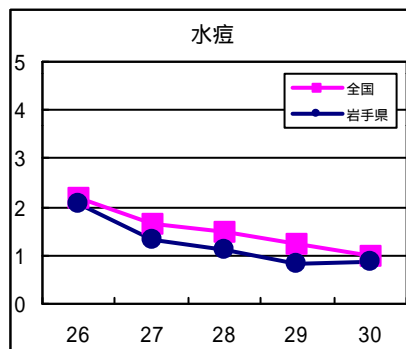
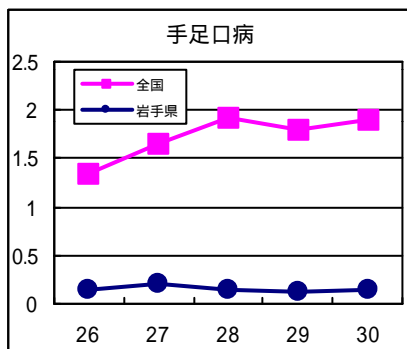
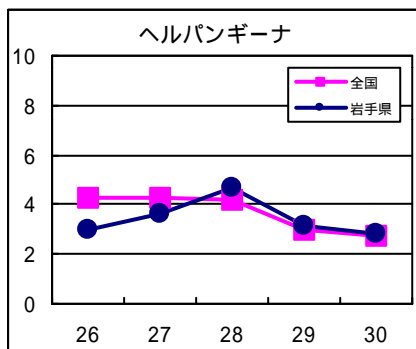
・後天性免疫不全症候群の報告が1例ありました。患者は30歳代の男性です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ヘルパンギーナは、多くの地区で減少傾向にあり、この夏の流行のピークを越えたものと思われます。
- ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、盛岡、花巻及び奥州地区で患者が多くなっています。患者の年齢の中心は、3～6歳です。県内では、平成15年以降で患者数が最も多くなっており、今後も注意が必要です。
- ・インフルエンザは、久慈地区から患者の報告が続いています。
- ・夏場は、細菌性食中毒が多発する時期です。県内でも先月にはカンピロバクター、6月には黄色ブドウ球菌による食中毒が発生しました。この他にも、サルモネラ、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌などが食中毒の原因となります。食品を取り扱う際には、「清潔」（菌をつけない）、「迅速または冷却」（菌を増やさない）、「加熱と殺菌」（菌を消滅させる）の三原則を守り、食中毒予防を心がけましょう。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		26	27	28	29	30		
インフルエンザ	岩手県	1.27	0.86	0.68	0.41	0.52	→	
	全国	0.49	0.34	0.28	0.16	0.11		
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03		
咽頭結膜熱	岩手県	0.38	0.1	0.21	0.1	0.21	→	
	全国	1.28	1.33	1.48	1.32	1.34		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.72	0.46	0.56	0.77	0.46	→	
	全国	1.86	1.65	1.37	1.06	0.97		
感染性胃腸炎	岩手県	2.03	2.46	2.36	1.44	1.56	→	
	全国	3.5	3.48	3.2	2.82	2.92		
水痘	岩手県	2.08	1.33	1.13	0.82	0.87	→	
	全国	2.2	1.65	1.48	1.24	1		
手足口病	岩手県	0.15	0.21	0.15	0.13	0.15	→	
	全国	1.35	1.66	1.93	1.8	1.9		
伝染性紅斑	岩手県	0.31	0.15	0.18	0.05	0.33	↗	
	全国	0.79	0.61	0.76	0.39	0.56		
突発性発疹	岩手県	0.64	0.41	0.36	0.38	0.41	→	
	全国	0.83	0.79	0.81	0.73	0.82		
百日咳	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	3	3.64	4.64	3.15	2.79	↘	
	全国	4.24	4.24	4.19	2.98	2.71		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.28	1.44	1.87	1.77	2.05	↗	
	全国	1.74	1.68	1.78	1.61	1.62		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	1.08	1.33	0.83	1.5	↗	
	全国	1.24	1.41	1.5	1.35	1.37		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.08	0.08	0.11	0.1	0.16		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.6	0.5	0.25	0.1	0.65	↗	
	全国	0.39	0.42	0.4	0.32	0.46		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

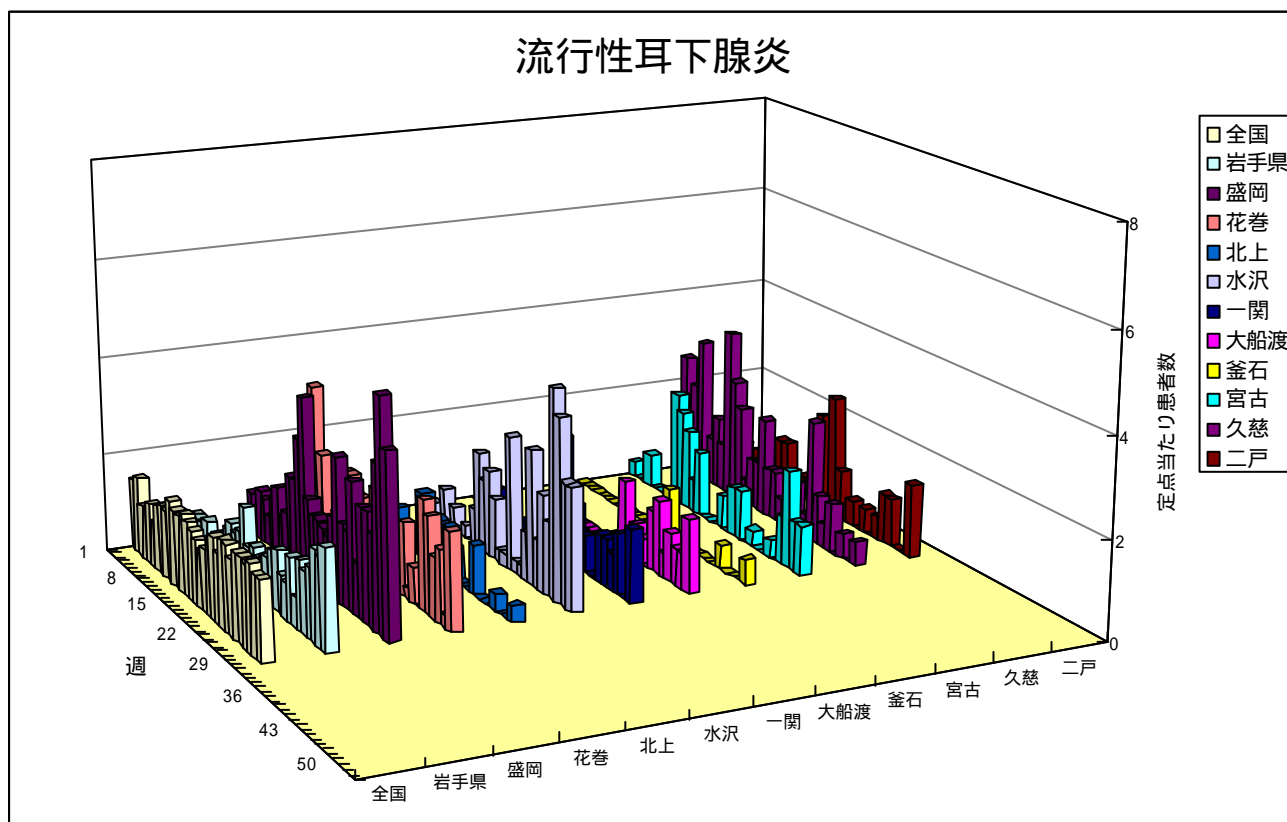
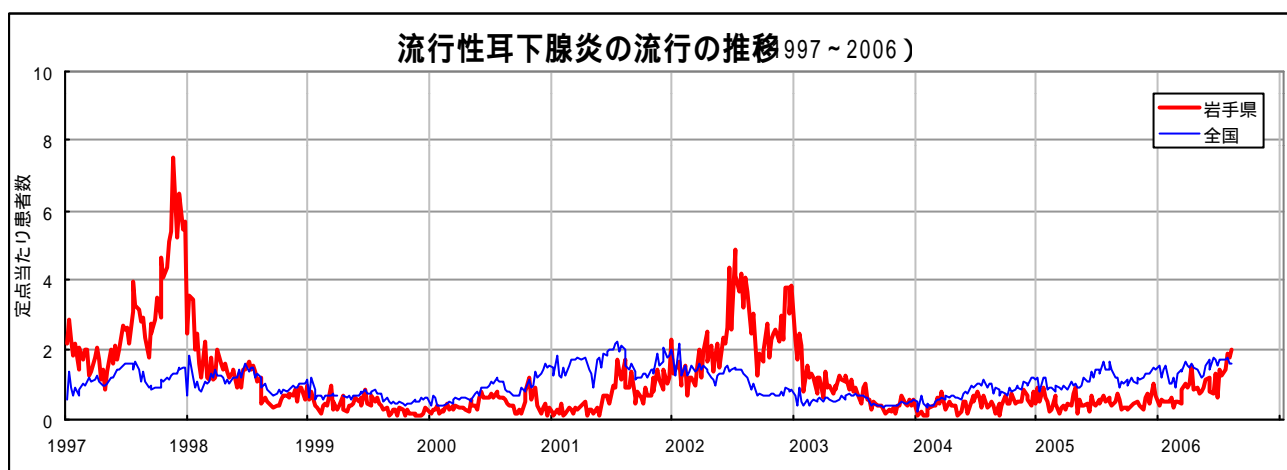
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		26	27	28	29	30		30	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	23
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	6	116
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	35
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	11
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	6	5	0	21	191	1392
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	23
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	142
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	9
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	9
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	1	0	0	3	0	151
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	18
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	14
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	27	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	3	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	1	1	15	167	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	14	283
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	90
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	1	37
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	53
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	47
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	11	452
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	39
	髄膜炎性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	1	0	0	0	3	13	235
	破傷風	0	0	0	0	0	0	4	46
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	31

今注目の感染症

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

流行性耳下腺炎は、2～3週間の潜伏期を経て発症し、片側あるいは両側性の唾液腺の有痛性腫脹を特徴とするウイルス感染症である。

今年は、盛岡地区から一関地区にかけての内陸部からの患者報告が多く、県全体での患者数は平成15年以降で最も多くなっている。患者の年齢の中心は、3～6歳である。



## 病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## 集団感染情報

### カンピロバクターによる食中毒事件

#### 1 事件の察知

7月23日、一関市内の医療機関から、「市内の高校生が食中毒様症状を訴えて来院した。」との通報が一関保健所にあった。

#### 2 調査結果

一関保健所及び県環境保健研究センターの調査の結果、患者の症状が共通していること、患者の共通食品は次の飲食店が提供した食事のみで、また、複数の患者便からカンピロバクターが検出されたことから、本事件をカンピロバクターによる食中毒事件と断定した。

- (1) 初発月日 7月18日（火）午前8時頃
- (2) 有症者数 30名（入院1名、通院15名）
- (3) 主症状 下痢、腹痛、頭痛、発熱
- (4) 病因物質 カンピロバクター
- (5) 原因食品 7月17日に飲食店が提供した食事
- (6) 原因施設 一関保健所管内の飲食店

#### 3 保健所の措置

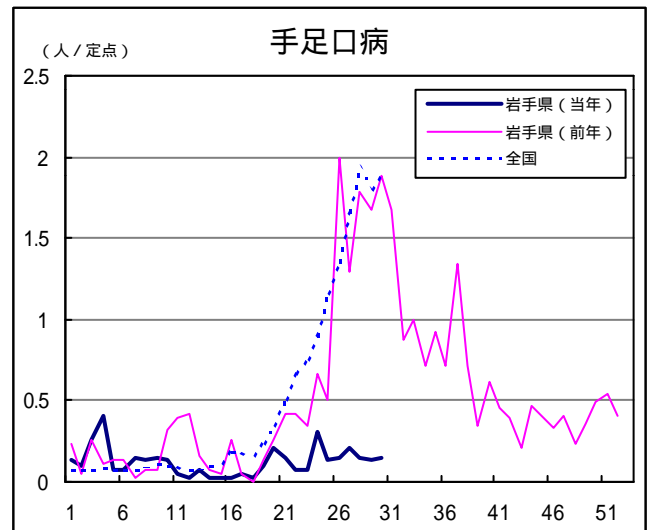
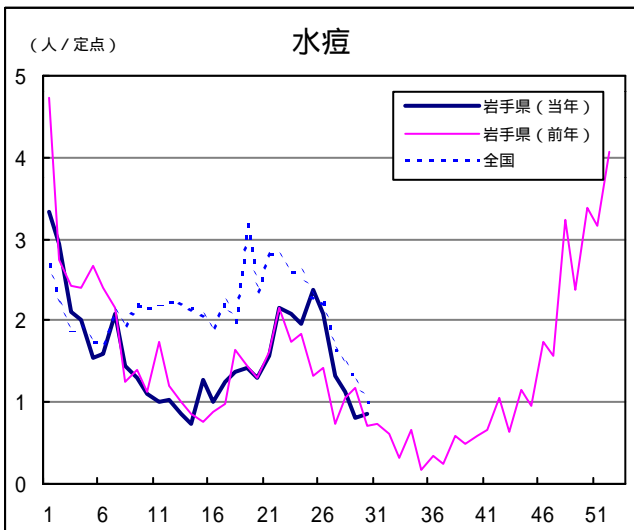
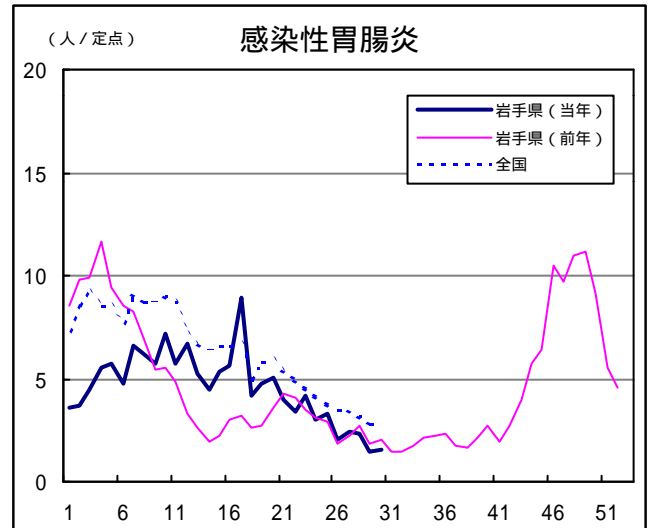
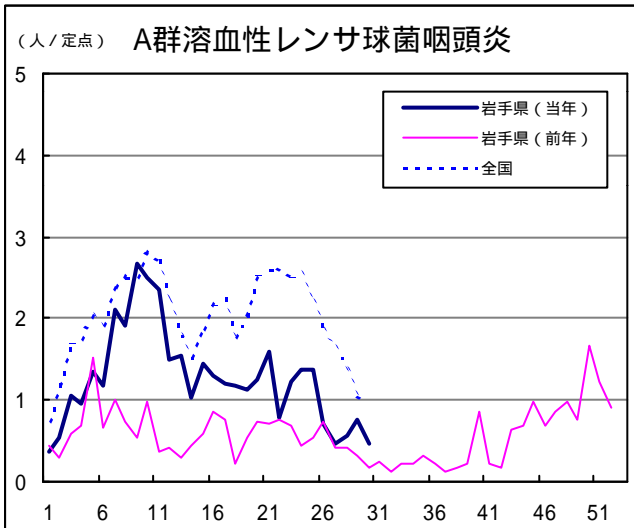
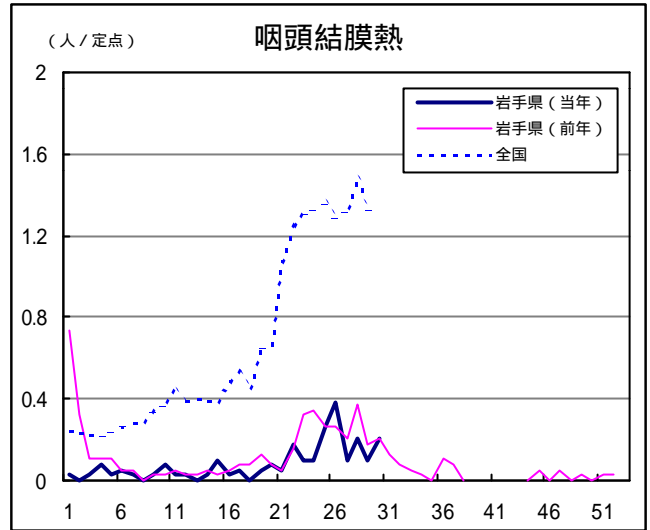
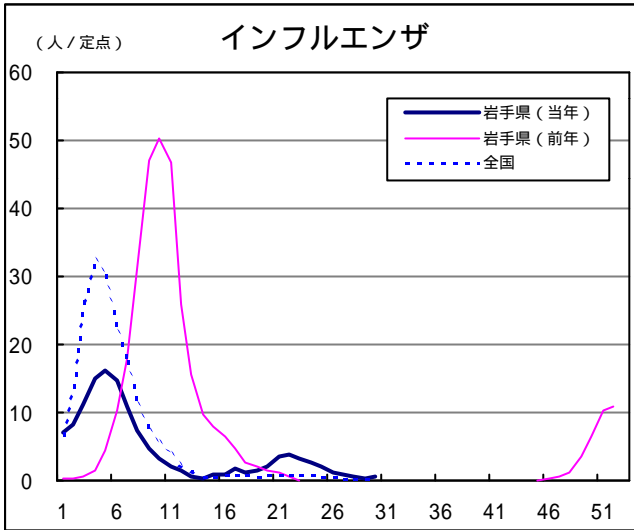
一関保健所は、原因施設を7月27日から29日までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

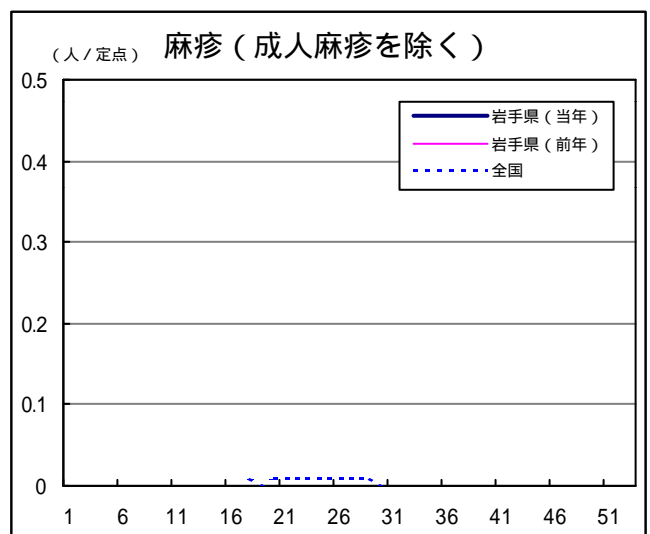
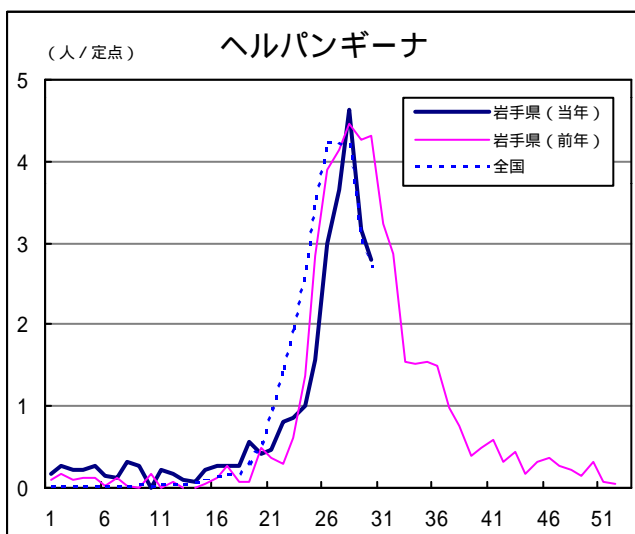
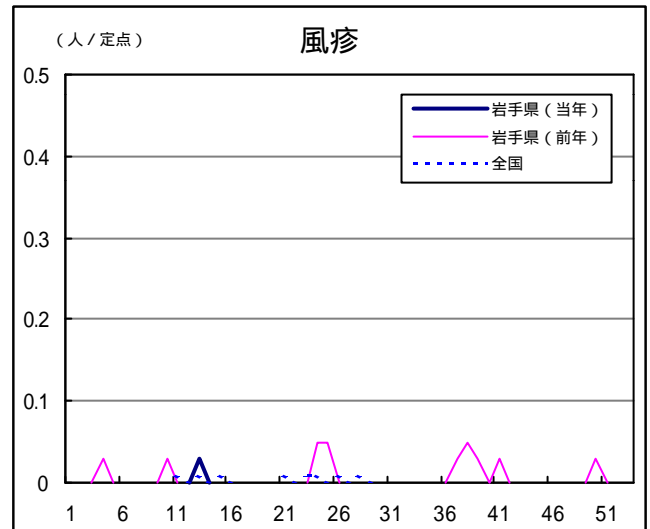
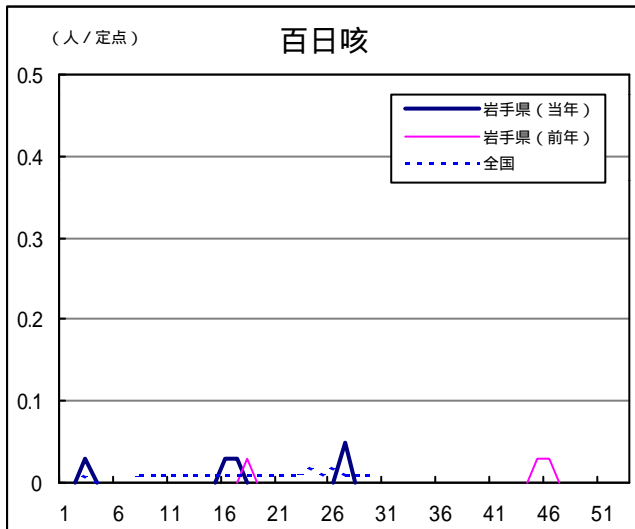
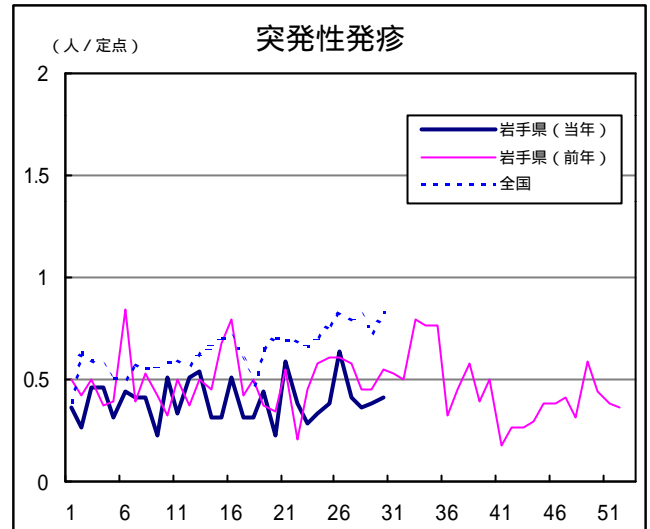
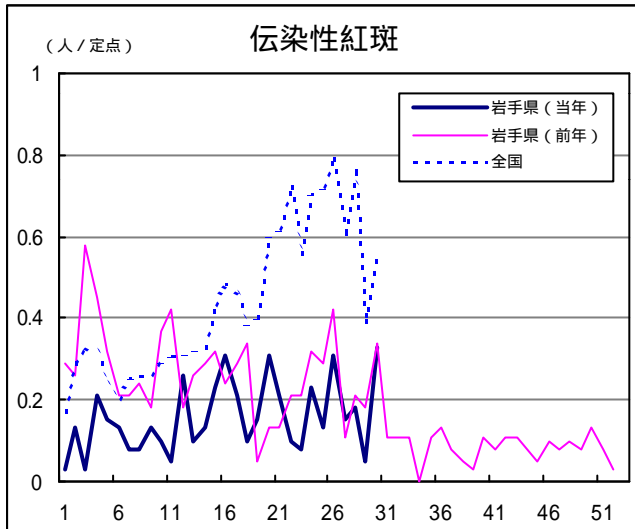
## Q & A

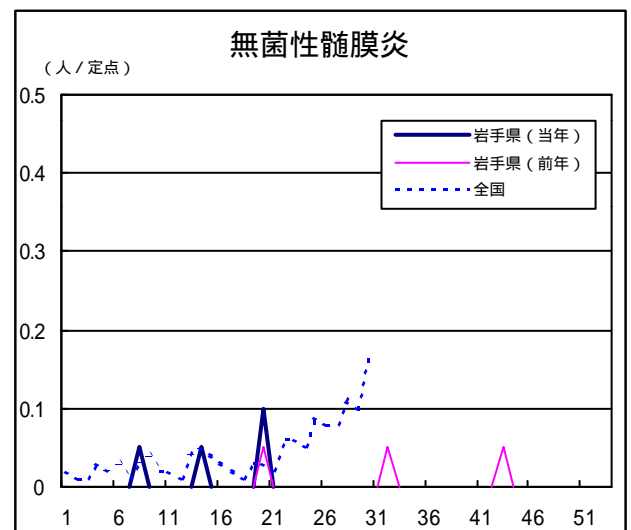
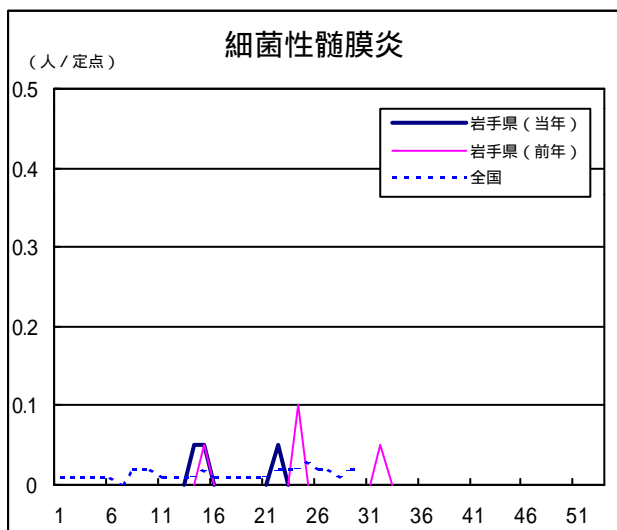
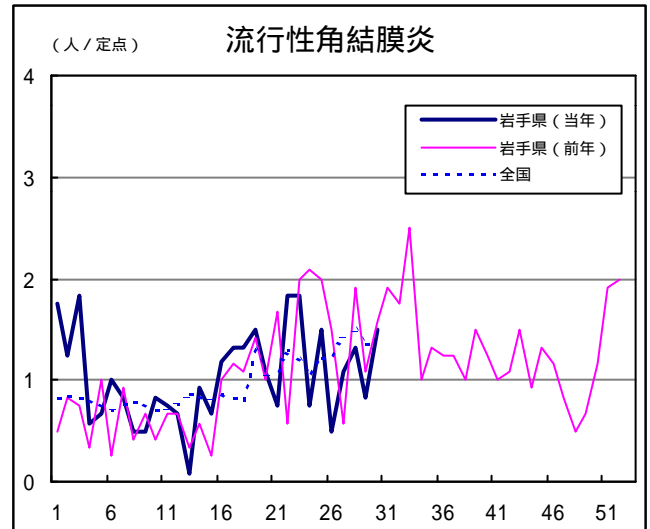
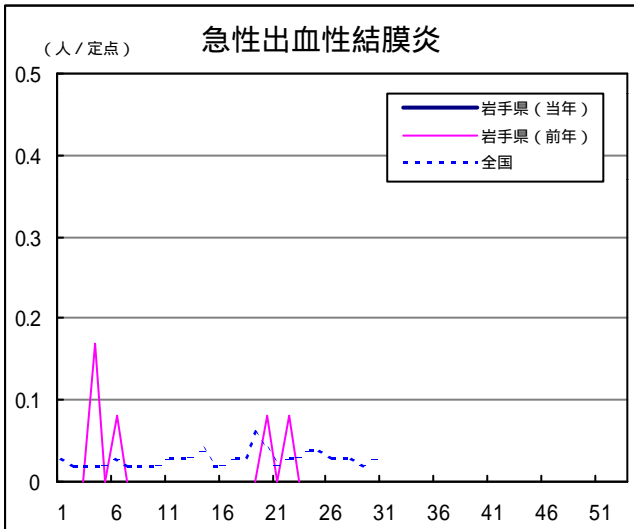
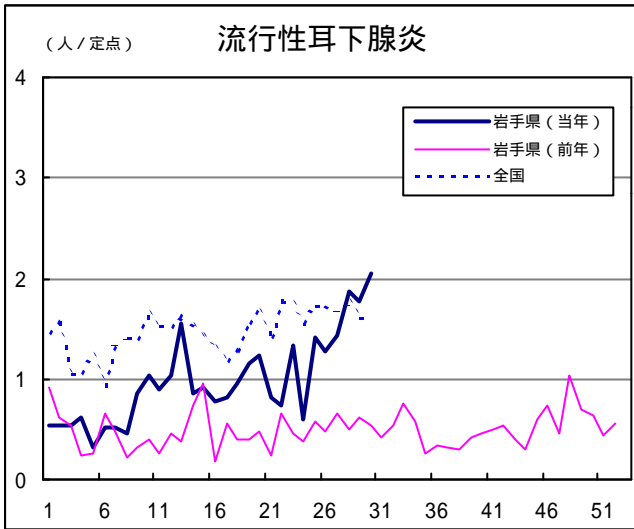
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

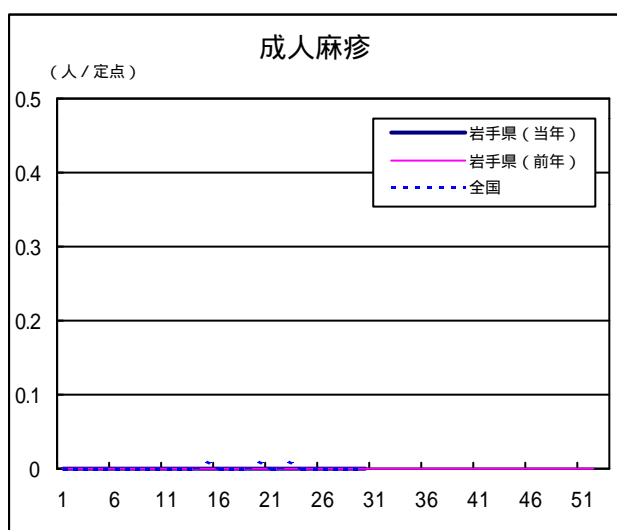
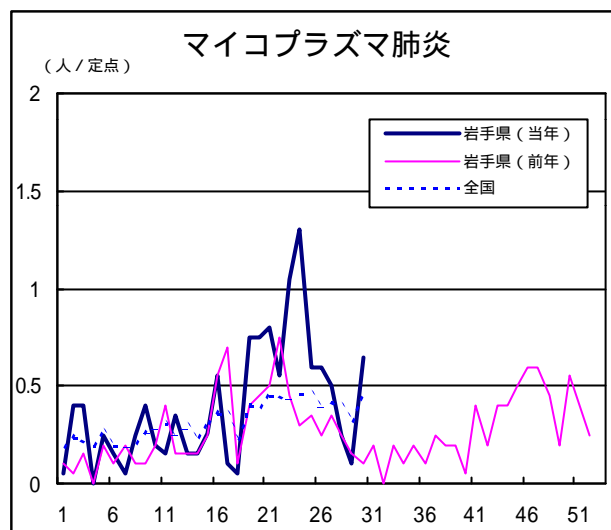
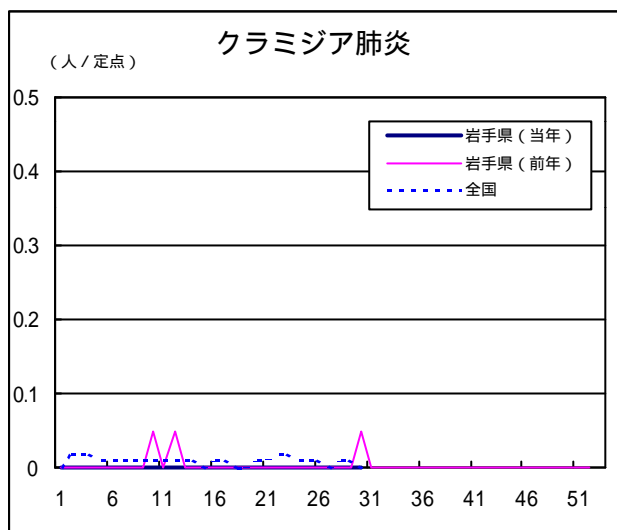
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）











定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	39	12	20
盛岡		17	11	3	5
花巻		7	4	1	3
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第30週 平成18年8月4日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667  
 E-mail:CC0019@pref.iwate.jp  
 URL : <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>